

リデュース、リサイクル取組上位市町村の取組について

1 リデュース取組上位市町村

1人1日当たりのごみ排出量が少ないなどの取組が進んでいる自治体では、普及啓発のほか、ごみ処理有料化、レジ袋の削減キャンペーンといった取組により、ごみの排出抑制が進められています。

表 1 リデュース取組上位自治体（人口 50 万人以上）

平成 18 年度			平成 19 年度		
順位	市町村	g/人日	順位	市町村	g/人日
1	愛媛県 松山市	908.7	1	愛媛県 松山市	849.2
2	東京都 八王子市	964.1	2	広島県 広島市	938.6
3	広島県 広島市	969.6	3	東京都 八王子市	944.7
4	神奈川県 横浜市	1,045.8	4	神奈川県 横浜市	996.3
5	鹿児島県 鹿児島市	1,050.0	5	鹿児島県 鹿児島市	1,013.9
6	神奈川県 相模原市	1,073.8	6	神奈川県 相模原市	1,045.8
7	神奈川県 川崎市	1,107.0	7	埼玉県 さいたま市	1,083.9
8	静岡県 浜松市	1,117.4	8	神奈川県 川崎市	1,087.6
9	埼玉県 さいたま市	1,126.9	9	静岡県 浜松市	1,094.9
10	愛知県 名古屋市	1,142.4	10	兵庫県 姫路市	1,110.3

注) 人口 50 万人以上の市は 28。東京都 23 区は 1 市とした。

出典：環境省「日本の廃棄物処理（平成 19 年度版）」

リデュース取組上位 5 市（人口 50 万人以上）の主な取組事例

- ・HP等を活用したごみ分別方法などの情報提供や環境学習などを通じた普及啓発（松山市、広島市、八王子市、横浜市、鹿児島市）
- ・市民参加による3R推進のための推進員や協議会等の設置（松山市、広島市、八王子市、横浜市、鹿児島市）
- ・集合住宅ごみ等優良排出管理認定制度（八王子市）
- ・エコショップ認定制度（八王子市）、ごみ減量優良協力店（広島市）、G30エコパートナー協定（横浜市）、エコストア認定（鹿児島市）
- ・レジ袋有料化実証実験（八王子市、広島市）、レジ袋削減キャンペーン（松山市）
- ・生ごみ処理機の購入等支援（松山市、広島市、八王子市、横浜市、鹿児島市）
- ・分別を守らない者に対する罰則制度（横浜市）

2 リサイクル取組上位市町村

リサイクルへの取組が進んでいる自治体では、分別回収の普及・徹底や子ども会、町内会などの自主的取組による集団回収などが進められています。

表 2 リサイクル取組上位自治体（人口 50 万人以上）

平成 18 年度			平成 19 年度		
順位	市町村	%	順位	市町村	%
1	東京都 八王子市	32.1	1	福岡県 北九州市	29.2
2	神奈川県 横浜市	26.0	2	東京都 八王子市	27.5
3	千葉県 千葉市	24.9	3	神奈川県 横浜市	26.7
4	愛知県 名古屋市	24.4	4	千葉県 千葉市	26.1
5	埼玉県 さいたま市	22.5	5	愛知県 名古屋市	24.7
6	兵庫県 姫路市	21.9	6	神奈川県 相模原市	19.9
7	千葉県 船橋市	20.9	7	埼玉県 さいたま市	19.5
8	静岡県 浜松市	19.3	8	新潟県 新潟市	19.4
9	新潟県 新潟市	18.8	9	静岡県 浜松市	18.1
10	神奈川県 相模原市	18.1	10	兵庫県 姫路市	17.7

注) 人口 50 万人以上の市は 28。東京都 23 区は 1 市とした。
出典：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

リサイクル取組上位 5 市（人口 50 万人以上）の主な取組事例

- ・ 焼却施設における自己搬入手数料の引き上げ、リサイクル可能古紙木材の搬入禁止措置、有料袋の値上げ等による総排出量の削減、分別回収の普及徹底、古紙回収奨励金の引き上げ（北九州市）
- ・ H P 等を活用したごみ分別方法などの情報提供や環境学習などを通じた普及啓発（北九州市、八王子市、横浜市、千葉市、名古屋市）
- ・ 市民参加による 3 R 推進のための協議会等の設置（八王子市、横浜市）
- ・ 分別回収の徹底、搬入物検査による事業系古紙リサイクルの徹底等（千葉市）
- ・ ごみ非常事態宣言後の分別・リサイクルの取組（指定袋制、古紙回収システム、包装容器の資源回収等）（名古屋市）